

若年層向けライフプラン設計支援による 人生満足度の向上

～誰も誰もが未来に希望を持てる社会へ～

未来をつくるネットワークを考える会
次世代リーダーグループ
Team WIND



目次

-  **01** | Team WINDのご紹介
-  **02** | 日本の若者の現状分析
-  **03** | ターゲットライフシーンと我々のアプローチ
-  **04** | ライフプランニングの現状と課題
-  **05** | 提案サービス「デジタルクローン人生相談室」
-  **06** | ビジネスモデル
-  **07** | 政策提言



Team WIND



Doppo Sugimura

杉村 独歩

日本電業工作株式会社



Tomoya Ohara

小原 知也

株式会社NTTドコモ



Ryosuke Ookawa

大河 亮介

KDDI株式会社



Arika Tomimori

富森 安梨加

NECマグナスコミュニケーションズ株式会社



Kazuto Hayashi

林 一渡

株式会社国際電気



Hiroki Motomura

本村 寛樹

京セラ株式会社



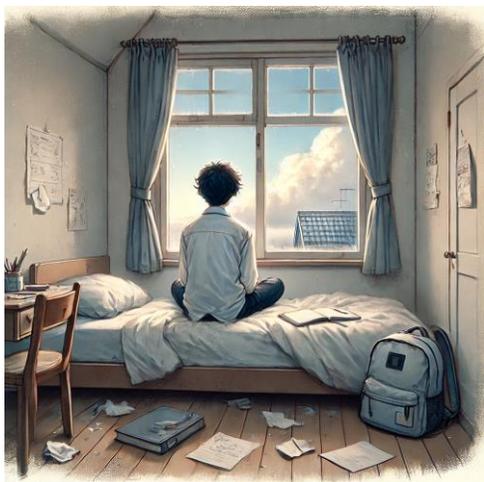
Mizuki Obayashi

尾林 美月

富士通株式会社

日本の若者の現状

将来の日本を支える若者が将来に希望を持ってない状況



学生

「将来について考える機会が少なく、なりたい自分に対してどのようにアプローチすればよいか分からない…」



社会人1~2年目の若者

「将来に対して漠然とした不安があり、結婚や出産のビジョンが浮かばない…」

日本の若者の将来への不安：統計データから見る現状①-a

18歳意識調査（日本財団）*1

2024年2月実施、6カ国（日本・アメリカ・イギリス・中国・韓国・インド）の17歳～19歳の男女、各国1,000人を対象

- 「自国の将来は良くなる」：日本は6カ国中ワースト1位
- 「若者への支援は充実している」：日本は6カ国中ワースト1位
「高齢者への支援は充実している」との差が突出して大きい

point
1

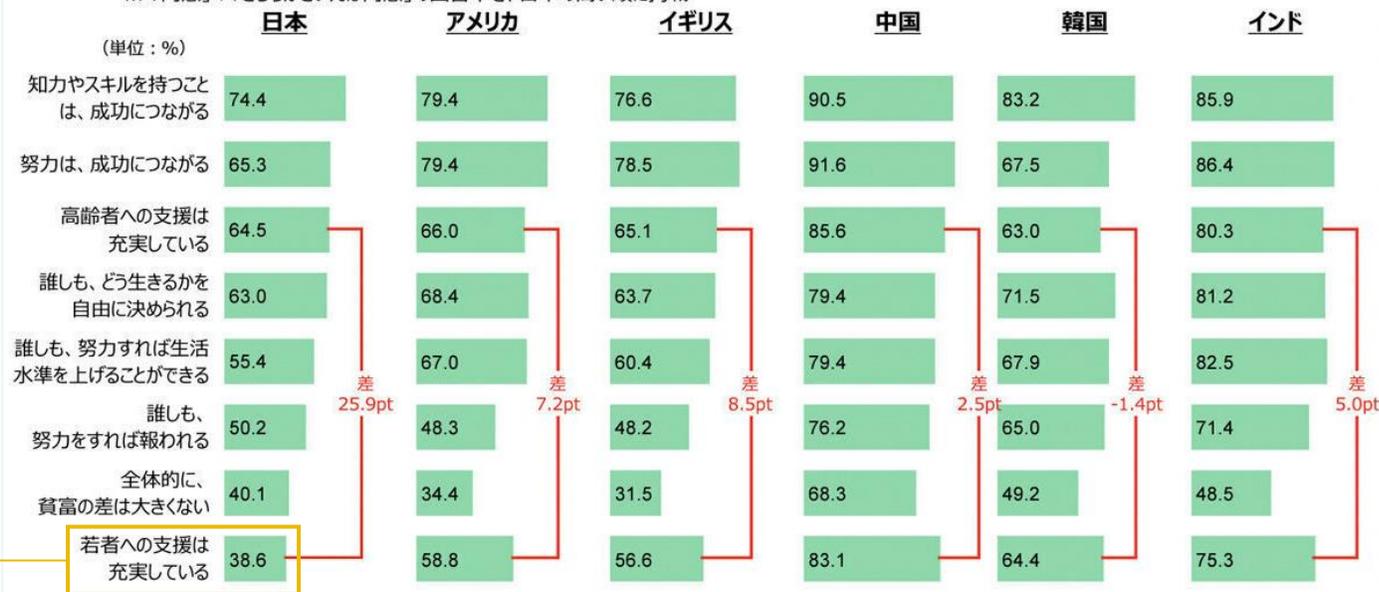
他国の若者と比べると、日本の若者は自国の将来に希望を持つ人が少ない

自国の将来についてどう思いますか。（単一回答、各国n=1,000）



現在の自国において、以下の項目に同意しますか。（単一回答、各国n=1,000）

※「同意」+「どちらかといえば同意」の回答率を、日本の高い順に掲載



日本の若者の将来への不安：統計データから見る現状①-b

若年層の意識調査 (BIGLOBE) *2

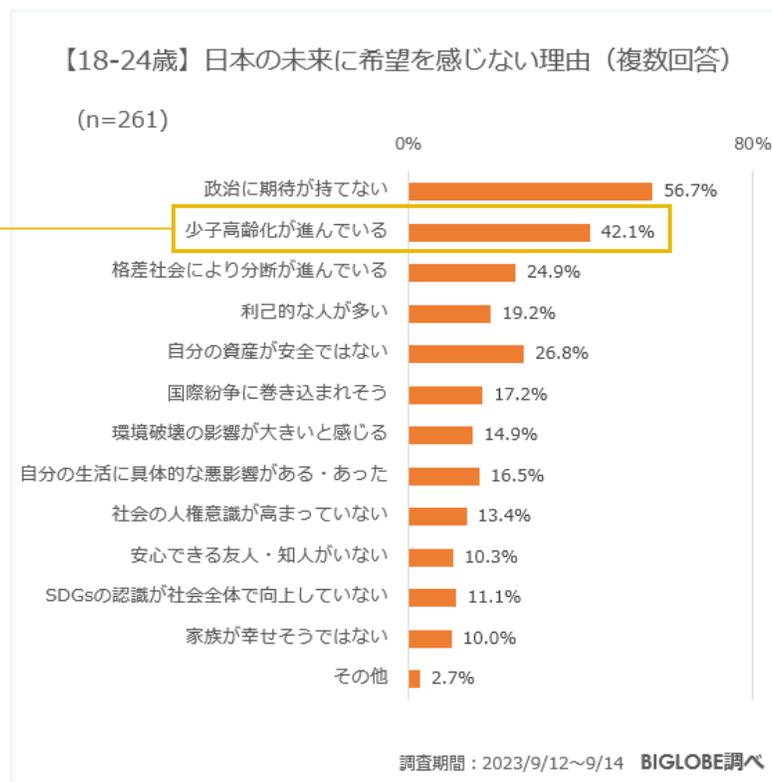
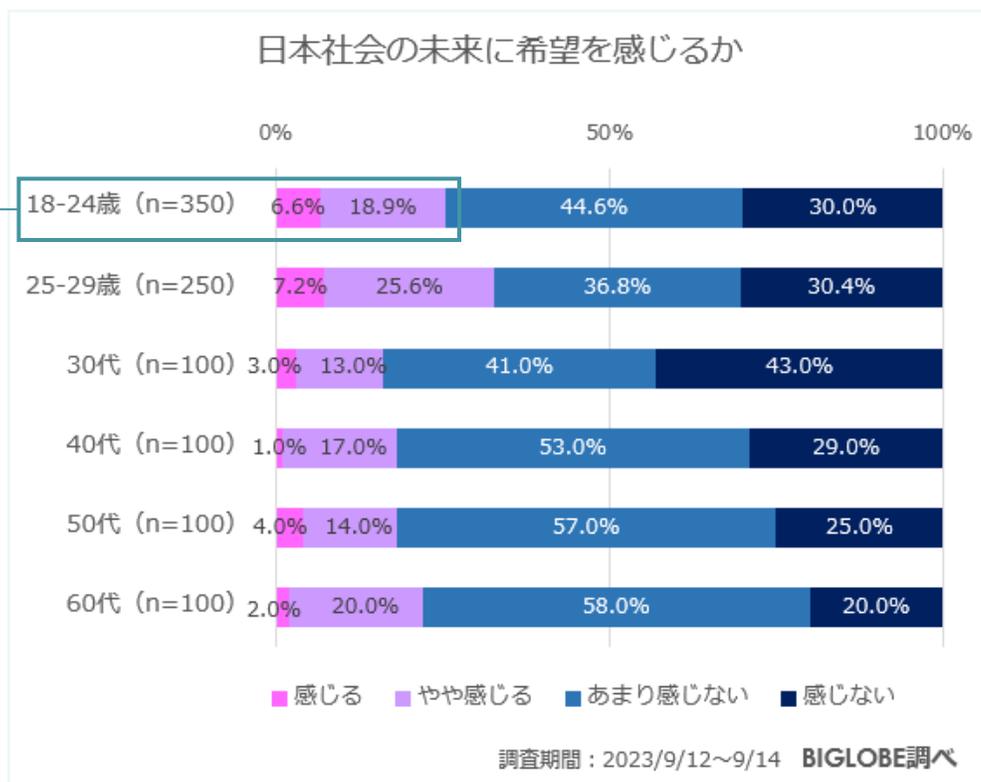
2023年9月実施、全国の18歳～69歳の男女1,000人を対象

■ 「日本社会の未来に希望を感じる」：全体で24.5%(18-24歳は25.5%)

■ 18-24歳が希望を感じない理由「少子高齢化が進んでいる」：42.1%

point
2

少子化が、将来に希望を持っていない若者を増やす一因となっている



子どもを持たない理由：統計データから見る現状②-a

子育てに関するZ世代の意識調査（BIGLOBE）*3

2023年2月実施、全国の18歳～25歳の男女500人を対象

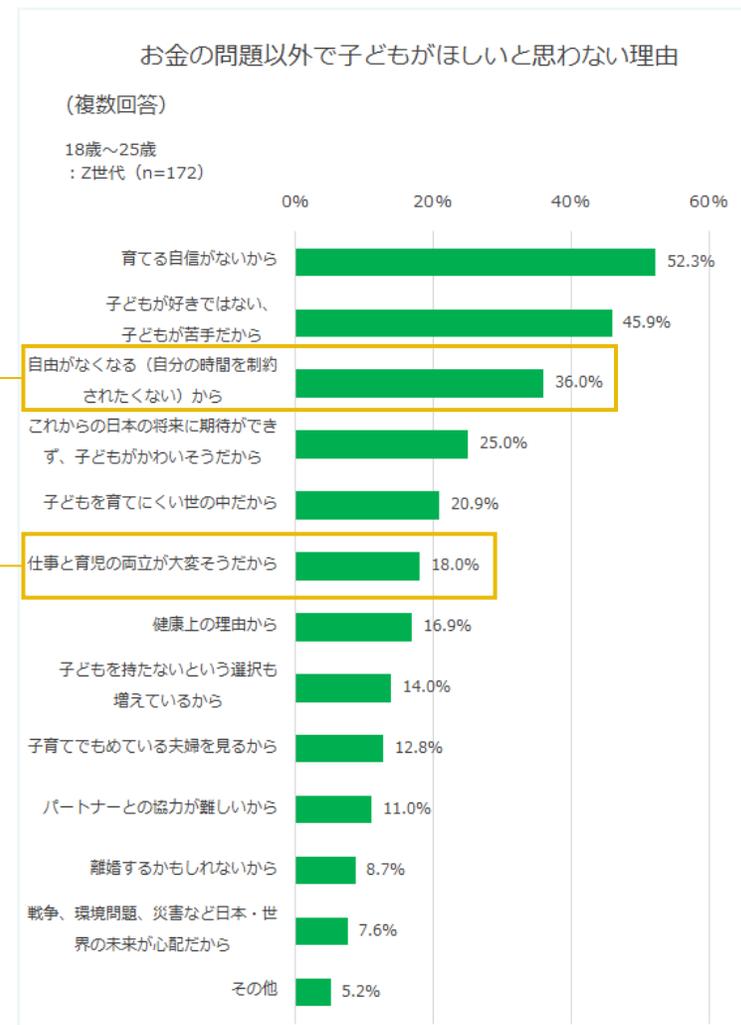
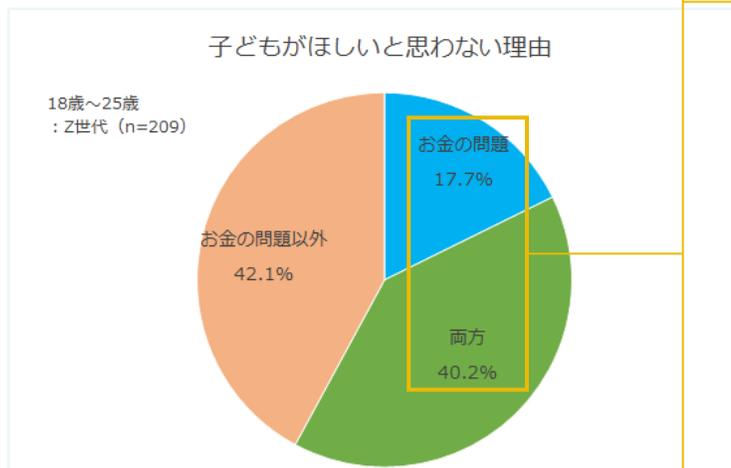
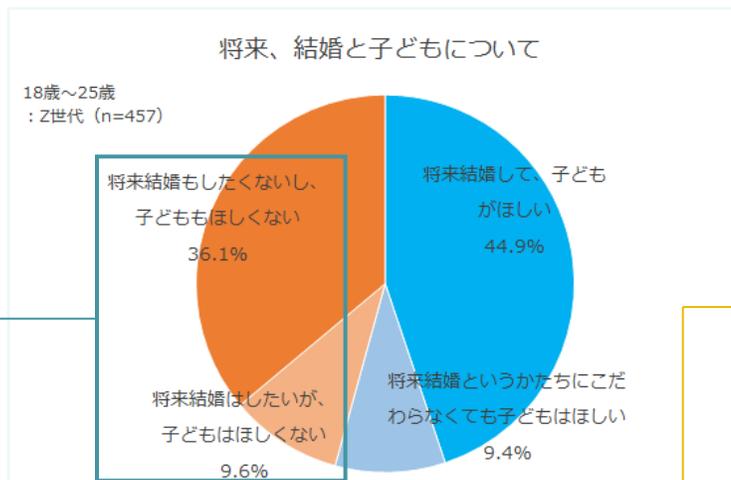
■ 「将来、子どもがほしくない」：45.7%

■ 子どもがほしいと思わない理由：

- 「お金の問題」
- 「自由がなくなる」
- 「仕事と育児の両立が大変そう」

point
3

経済的な理由を中心とした
将来への不安が、
若者が子どもを望まない
一因となっている



子どもを持たない理由：統計データから見る現状②-b

「子育て世代が思う少子化」に関する調査（一般社団法人マザーアンドチャイルド協会）*4

2023年2月実施、妊娠中または出産後の女性1353人を対象

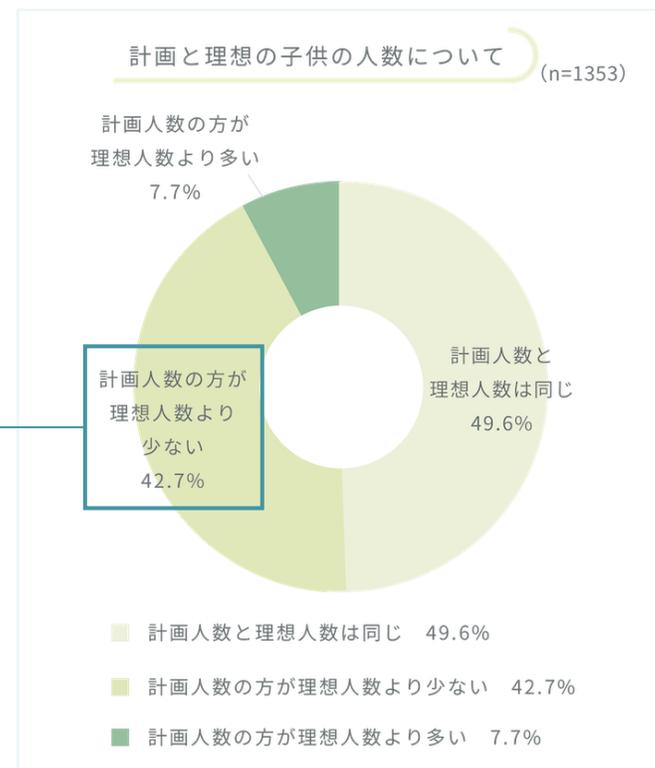
■ 「計画している子どもの人数が理想より少ない」：42.7%

■ 産みたいけど産めない理由：

- 「経済的な理由」
- 「仕事と家庭の両立が難しい」
- 「自分（パートナー含む）の年齢が高齢」

point
4

子どもを持つ人も理想の子ども数に満たないことが多く、経済的な理由を中心とした将来への不安がその一因となっている



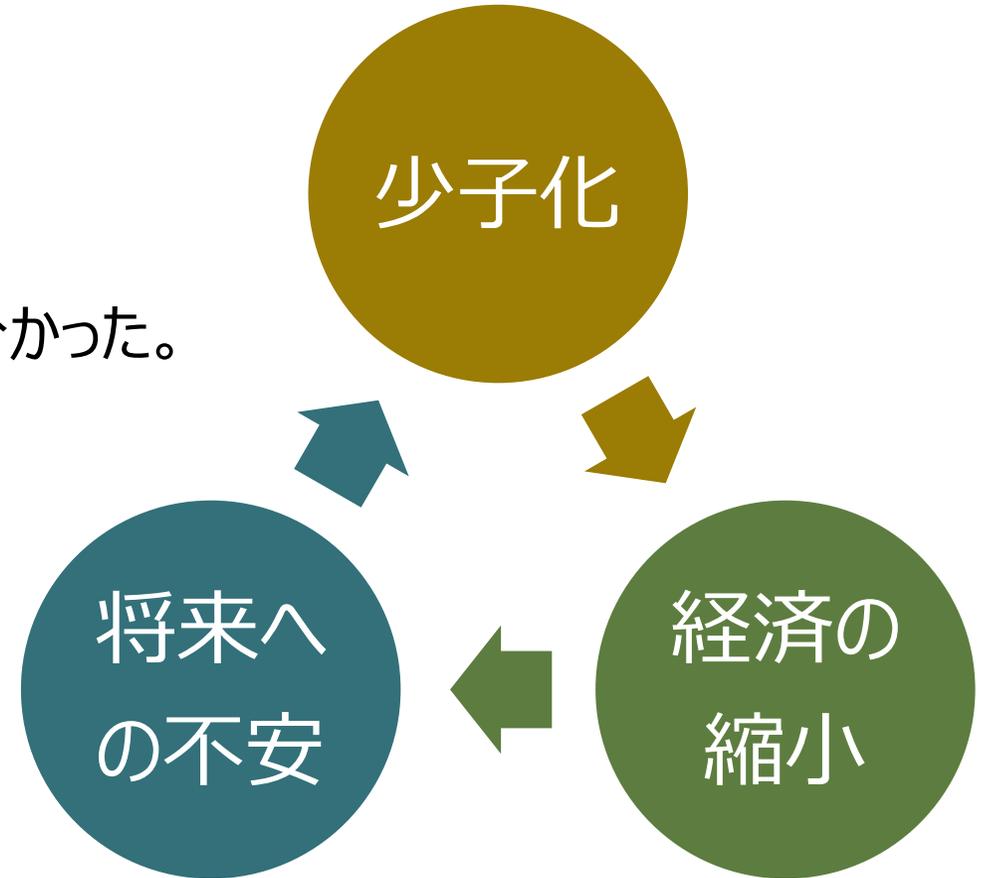
計画している人数が理想より少ない理由（複数回答可） (n=578)

- 458 経済的な理由のため
- 331 仕事と家庭の両立が難しいため
- 265 自分（パートナー含む）の年齢が高齢のため
- 170 子供が大きくなった時の日本の将来が不安なため
- 77 子供を産み育てる自信がないため
- 43 自分の健康状態が良くないため
- 19 コロナ禍による妊娠・出産が心配なため
- 1 無回答

データから分かった悪循環

これまでのデータから、自国の将来の不透明さや少子化による若者世代への負担増加などにより、日本の未来に期待を抱けない若者が多くいることが分かった。

また、上記に起因する若者の将来への不安、特に経済的不安によって子育てのハードルが上がり、少子化の改善がより困難になるという悪循環が発生している



将来への不安と少子化の悪循環

ターゲットライフシーンを 実現するための 我々のアプローチ

ターゲットライフシーン：「日本の未来に希望を持ち
安心して人生を築ける若者で溢れる社会」



若者が自分の将来に明るいビジョンを持つ
ことができれば、悪循環から脱却可能

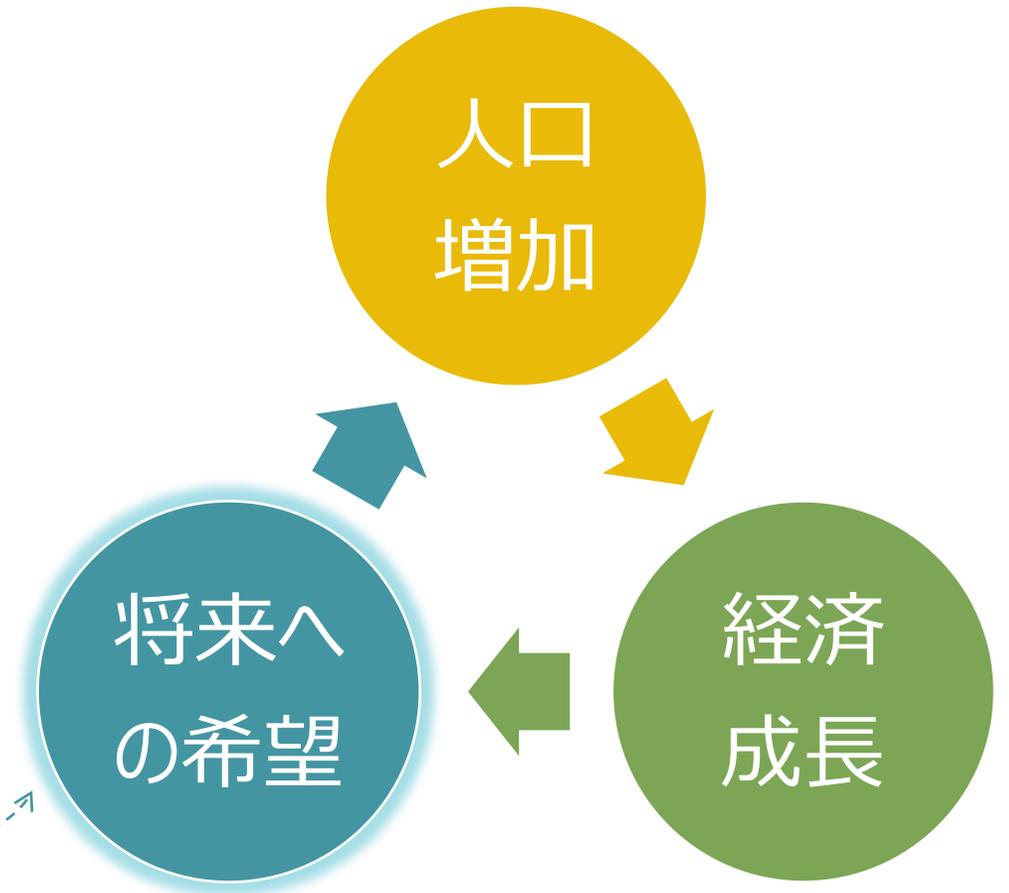


若者の将来へのビジョン形成と
経済的な安心の獲得を支援したい



その手段として

ライフプランニングに着目



ライフプランニングとは

- 個人がもつ将来の夢や希望の計画、生涯の生活設計のこと
- 3領域について、豊かな生活・人生を実現するためのプランニング *5



ライフデザイン

「各人の価値観に基づいた
個人の生き方」
夢や人生観がそのまま
映し出される

ファイナンシャル プランニング

家計の現状を把握し、
目標・計画を立て準備する

日本におけるサービス事例

- 「ライフデザイン講座」(リクルートブライダル総研)
大学生を中心とした若者向けの講座。
主観的な価値観や理想を可視化。
- 「金融経済教育セミナー」(SMBCコンシューマーファイナンス)
金融リテラシー向上の取組を実施しているセミナー

ライフプランニングの実施状況：統計データから見る現状③

「ライフプランニング意識調査」(日本FP協会) *6

2024年2月実施、全国の20～69歳の男女2000人を対象

point
5

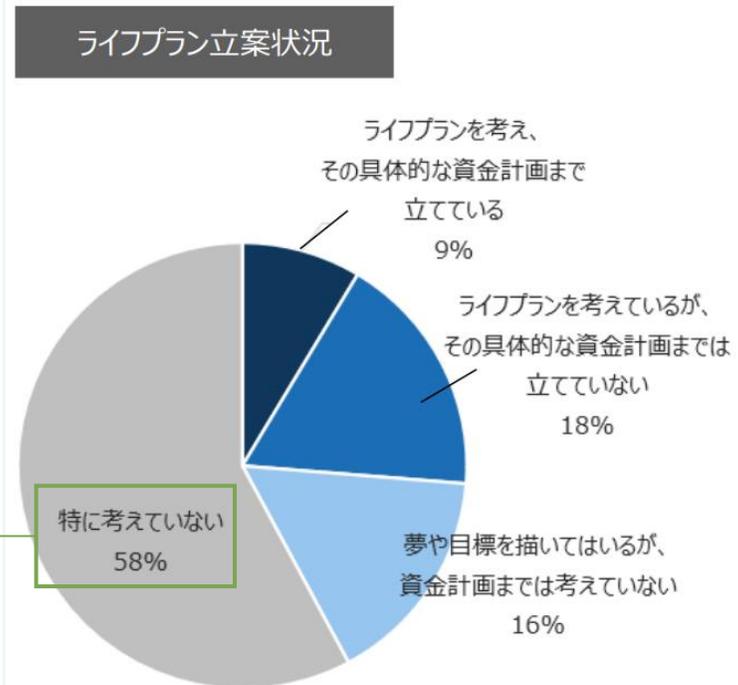
ライフプランニング・資金計画は、人生満足度向上やライフイベントへの不安の解消に繋がるが、実際に取り組んでいる人はまだ少ない

- ライフプランを具体的に立案している人ほど人生満足度が高い傾向
- 特に経済面においては、資金計画の有無と経済的な満足感・安心感との関連性が強い
- 一方、ライフプランを「特に考えていない」：58%

人生満足度			人生満足度 (%)					平均点
		n=	10～9点	8～7点	6～5点	4～3点	2～0点	
ライフプラン立案状況	全体	2,000	5.4	28.7	34.6	16.3	15.1	5.3
	ライフプランあり・資金計画あり	171	16.4	36.8	33.9	9.4	3.5	6.6
	ライフプランあり・資金計画なし	354	5.9	39.5	34.5	14.7	5.4	5.9
	夢や目標を描くのみ	318	2.8	34.0	32.4	17.3	13.5	5.3
	特に考えていない	1,157	4.3	22.7	35.4	17.5	20.1	4.8
「ライフプランあり・資金計画あり」 とのスコア差	ライフプランあり・資金計画なし		-10.5	2.7	0.6	5.3	1.9	
	夢や目標を描くのみ		-13.6	-2.8	-1.5	7.9	10.0	
	特に考えていない		-12.1	-14.1	1.5	8.1	16.6	

※キャントリル尺度を使用。
設問文：ハジゴの各段には数字が振ってあり、一番下の段には0、一番上の段には10とハジゴを上るにつれ数字が大きくなっていきます。あなたは現在ハジゴのどの段に立っていると感じますか。

項目別満足度(Top2)			満足度 (%)				
		n=	社会面 周囲の人との 信頼関係や愛情を 感じられている	身体面 心と体が健康で、 日常的な活動に対する 十分なエネルギーがある	キャリア面 自分のキャリア(仕事だけでなく、 家事・育児や趣味などを含む) に納得感を持ち、楽しんでいる (満足している)	経済面 資産をうまく管理し、 経済的に満足できている	地域面 地域とのつながりを 感じられている
ライフプラン立案状況	全体	2,000	39.0	37.7	32.2	23.5	20.6
	ライフプランあり・資金計画あり	171	66.7	62.0	67.8	63.2	43.3
	ライフプランあり・資金計画なし	354	57.6	51.1	49.2	36.7	31.6
	夢や目標を描くのみ	318	49.1	40.3	36.0	19.2	23.0
	特に考えていない	1,157	26.4	29.2	20.7	14.8	13.1
「ライフプランあり・資金計画あり」 とのスコア差	ライフプランあり・資金計画なし		-9.1	-10.9	-18.6	-26.5	-11.7
	夢や目標を描くのみ		-17.6	-21.7	-31.6	-44.0	-20.3
	特に考えていない		-40.3	-32.8	-47.1	-48.4	-30.2





企業/学校向けセミナー



ライフプラン/家計シミュレータ

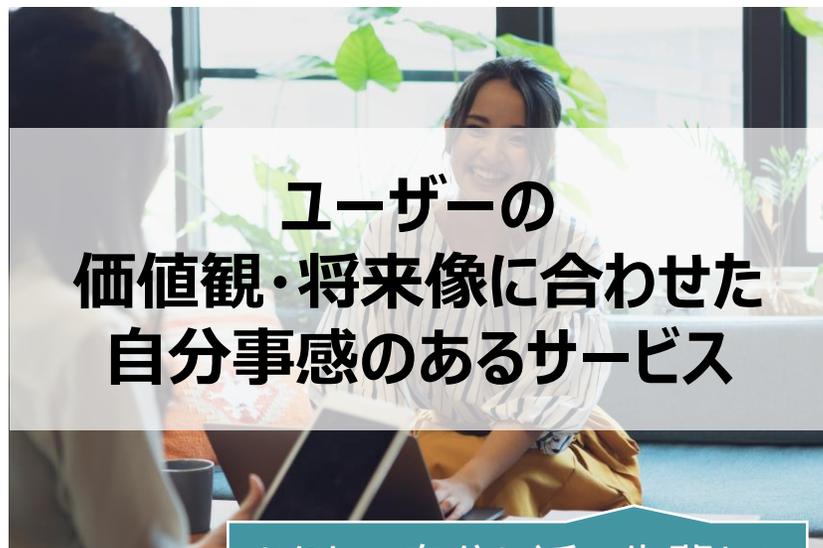
多くのライフプランニング関連の既存サービス、コンテンツがある中、自身のライフプラン立案に興味を持たないのはなぜか？

- **継続性の欠如**：単発的なセミナー等では継続的な見直しや意識醸成につながらない
- **自分事感の欠如**：一般的な内容では自身の将来像に合わず自分事として捉えられない
- **作業負担の大きさ**：自身の情報や将来像等の手入力が必要で時間・手間がかかる
- **若者の関心不足**：学生向けのライフプランニング教育は少なく自主性に任せられているため、遠い将来の課題として実感が湧かない

➔ 自身の価値観・将来像に合わせたライフプランニング教育でないと自分事として継続的に取り組んでもらうことは困難

既存のライフプラン教育サービスにおける課題

チームWINDの描く理想のサービス



**ユーザーの
価値観・将来像に合わせた
自分事感のあるサービス**

なりたい自分に近い先輩との
相談の場を提供



**若者の経済的な心配を
取り除き、挑戦を支援する
サービス**

なりたい自分に近い先輩の
家計情報を提供

こんな先輩のようになりたい！
その為に何をすればいいんだろう…！



やりたい事をやっても食べていけそうだ！
子供も十分養える！



なりたい自分に近い先輩との
相談の場を提供



なりたい自分に近い先輩の
家計情報を提供

- 適切な人生の先輩を見つけるのは困難…
- 先輩側の負担が大きく、気軽には依頼できない…
- 家計の詳細は教えにくい…



理想のサービスの課題

デジタルクローン人生相談室

デジタルクローンとの面談サービスで理想を実現

実際の【人生の先輩】との
面談をAIで再現
(内容/表情/話し方)

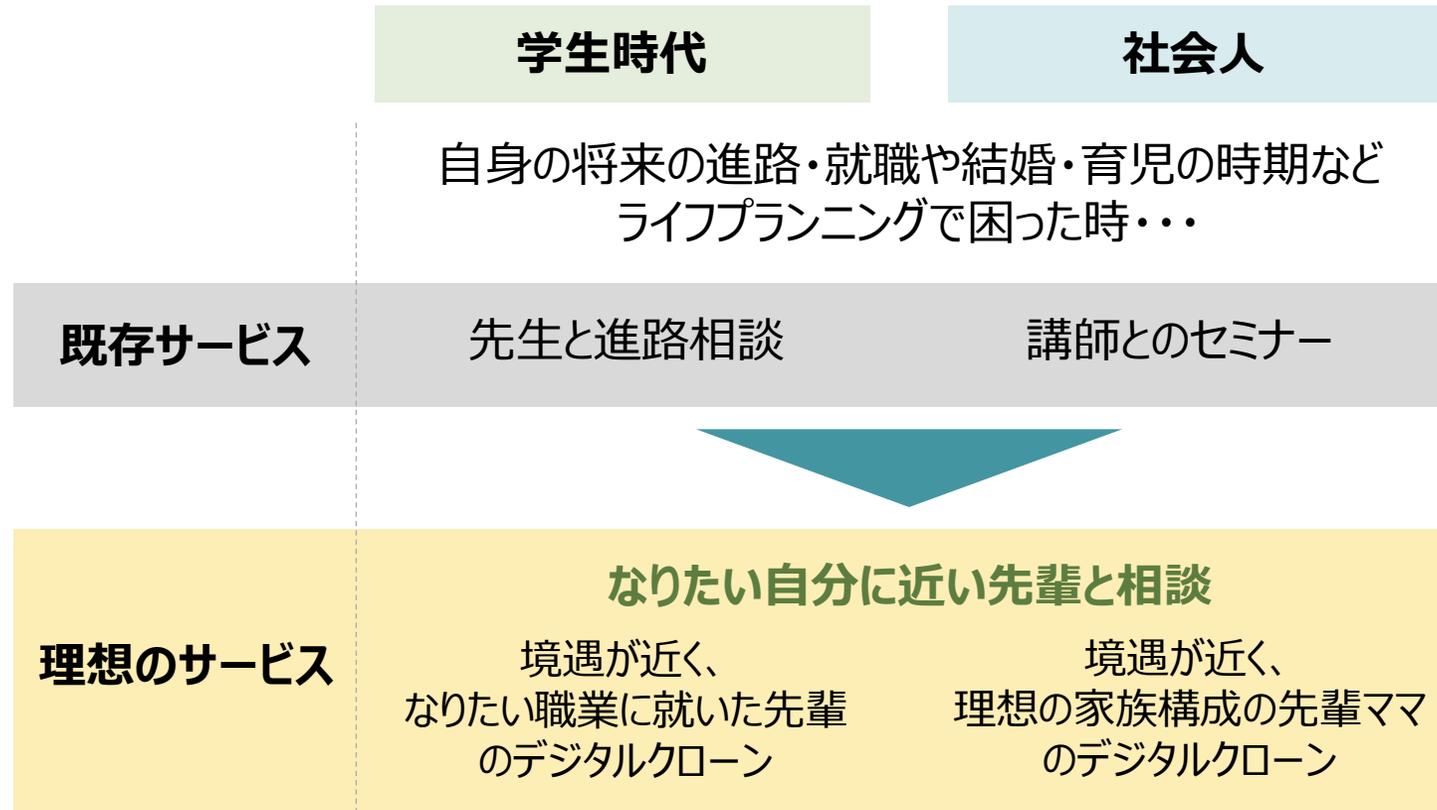
より気軽に、よりいろいろな先輩と相談可能に



【人生の先輩】の家計情報を
匿名化して提供

顔や声など、従来
保護しきれなかった部分も匿名化

サービス利用ケース① 将来イメージの具体化



自身とは遠い存在との相談・講義だと
自分事で捉えられない



将来設計が必要なのは分かるけど、
イメージが沸かないなあ・・・
何をすればいいんだろう・・・

自身の理想に近い存在から話を聞くことで
自分事で捉えて実現に取り組める



こんな先輩のようになりたい！
自分と同じ歳の時何をしてたんだろう？
聞いてみて自分もやってみよう！

若者がなりたい多様な未来に寄り添い、個々人の自由な人生の選択と実現をサポート

サービス利用ケース② 金銭的不安の解消

将来不安及び子供を持たない理由の多くを占める「金銭的不安」の解消が必要

実現方法

- 自分の理想に近い生活水準、収入を実現してる人生の先輩と面談
- デジタルローンと話すことで、通常の面談ではなかなか踏み込めない話まで事細かに対話可能

現在どんな職業で
年収はいくらですか？

子供はいますか？
住宅は持ち家ですか？

いいですね。
将来子供は欲しいと
思いますが、
経済面が不安です。

学生



ドナーA
クローン

現在公務員で、
年収はxxです。
年収と現在の収支は
こちらです。

子供は二人いて、
住宅は賃貸です。

子供のいる生活、
楽しいですよ。
現在手取りがxx円
ですが、xx円毎月
貯蓄に回せるくらいの
余裕はあります。

具体的な職種・年収・収支を知ること、漠然とした金銭的不安を解消。
自分の理想とする生活を実現するための道筋が具体化。

実現方法① ドナー募集



- 募集方法は広告での募集と国からの選出を想定

広告 → ネット広告や、電車やバスなどの公共交通機関など
選出 → 性別、年齢別に国がランダムに選出し郵便などで通知

- 集まったドナーに偏り（性別や年代、職業の偏りなど）がある場合は、データの欲しい層をターゲットを絞って広告を出す

例：30代半ばの働く女性がターゲット

→ Instagram、電車内広告、ファッション雑誌内の広告等



実現方法② 面談回答の収集



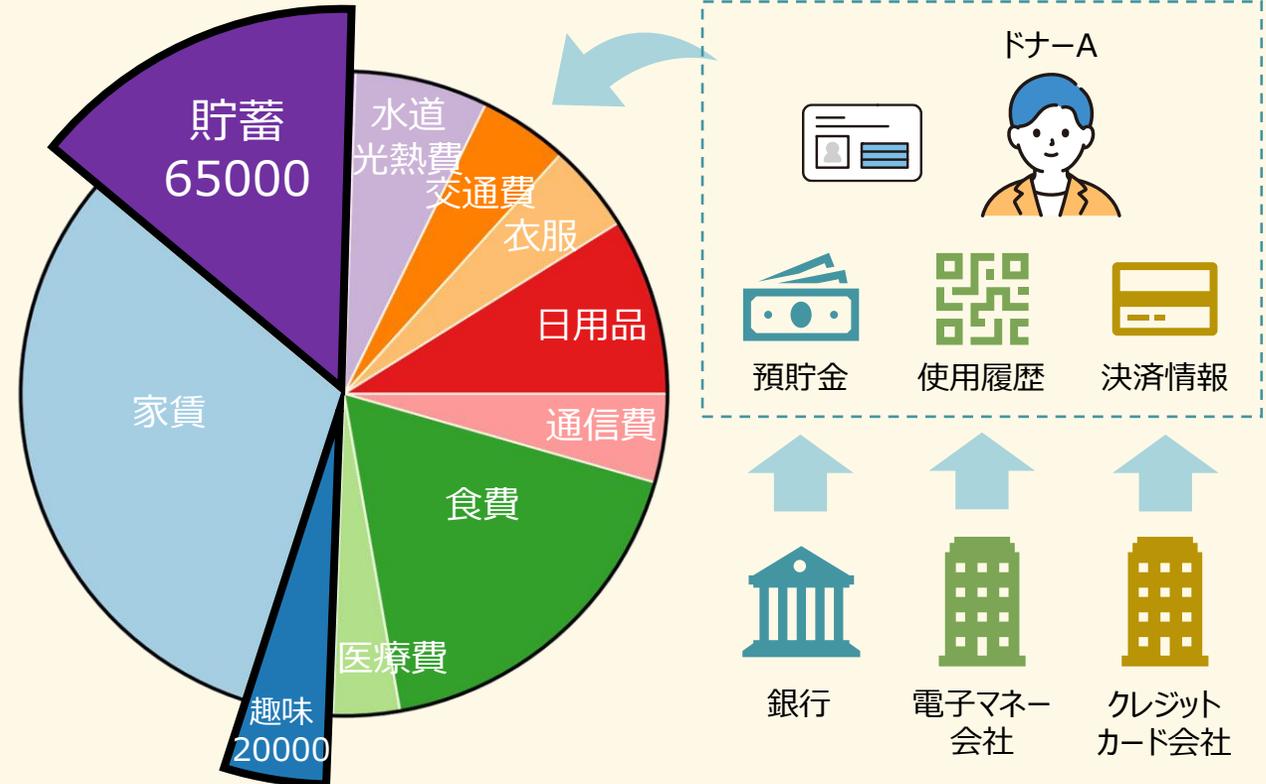
- 実際の面談データから、今後の利用者の質問内容を予測し質問事項を作成
- 質問内容に答えることでインセンティブがもらえるなど応募者にメリットがある形で実施する
- 回答方法は文字入力だけではなく、AIとの対話形式で音声での回答も可能など、応募者ができる限り負担なく回答できる方法を用意する



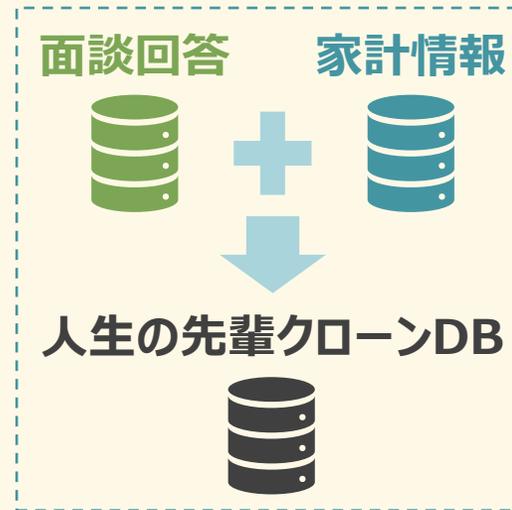
実現方法③ 家計情報の収集



ドナーの収支情報は使用する銀行や電子マネー、クレジットカード会社から自動で連携。支出については大項目で分類。人生の先輩がどれほど趣味や貯蓄に回しているか可視化可能に



実現方法④ クローン生成



- 収集した面談回答と家計情報を突き合わせ、人生の先輩のクローンDBを作成
- ドナーは、家族構成や居住地、職業が変更になった際には再度アンケートに回答し、同一人物のバージョン違いのクローンを作成・保管

面談回答結果								家計情報		
ドナー	性別	年齢	結婚/独身	子ども	居住地	職業	最新の年間収支	総貯蓄
A-1 	男性	24歳	未婚	-	神奈川	職業：会社員	収入 450万 貯金 90万	200万
A-2 	男性	28歳	結婚	息子1人	神奈川	高校教師 前職：会社員	収入 550万 貯金 120万	500万
B 	女性	32歳	結婚	娘 1人 息子1人	岡山	タレント	収入 1050万 貯金 100万	2000万
C 	男性	30歳	結婚	息子1人	アメリカ	野球選手	収入 63億 貯金 40億	300億

実現方法⑤ 理想像のヒアリング



対話型検索



受付AI

どのような先輩をお探しですか？

学生（女性）



来年に、博士課程を卒業する学生です。
大学の研究室に助教として残ると、企業に就職するので悩んでいます。
研究や教育に興味があるのですが、大学に残ると結婚して子どもを育てるには難しいと感じています。
将来は仕事をしつつ、家庭を持って子育てもしたいと考えています。

同じような悩みを経験をしたことある人に相談に乗って欲しいです！

実現方法⑥ マッチング

デジタル
クローンの
収集

ユーザーへ
の提供

ドナー募集

面談回答の収集

家計情報の収集

クローン生成

理想像の
ヒアリング

マッチング

クローン	性別	年齢	結婚/独身	子ども	職業	最新の年間収支	...
D 	女性	36歳	結婚	娘 1人 息子1人	会社員	収入 900万 貯金 250万	...
E 	女性	32歳	結婚	息子1人	教員	収入 600万 貯金 130万	...

クローン D



私は悩んだ結果、企業へ就職をしました。
子どもを考えているのであれば、企業への就職を考えてみるのも良いと思います。
大学に比べて企業の方が休暇制度が充実していて、仕事と子育てを両立しやすい環境だと思います。
子育てが落ち着いてきたら、第2のキャリアとして教育関連の仕事に転職する道もあると思います。

クローン E



私は、大学に残りました。
男性的な働き方が残っているので、家庭との両立が難しく感じることはあります。
キャリアの間に一定の妊活の期間を設けて子どもを授かり、今は子育てをしながら働いています。
出張が多いので、親族に頼る場面が多くなります。
広く視点を持つためにも大学の他に、民間の研究機関も探してみると良いかもしれません。

サービス利用イメージ



• 使用イメージ

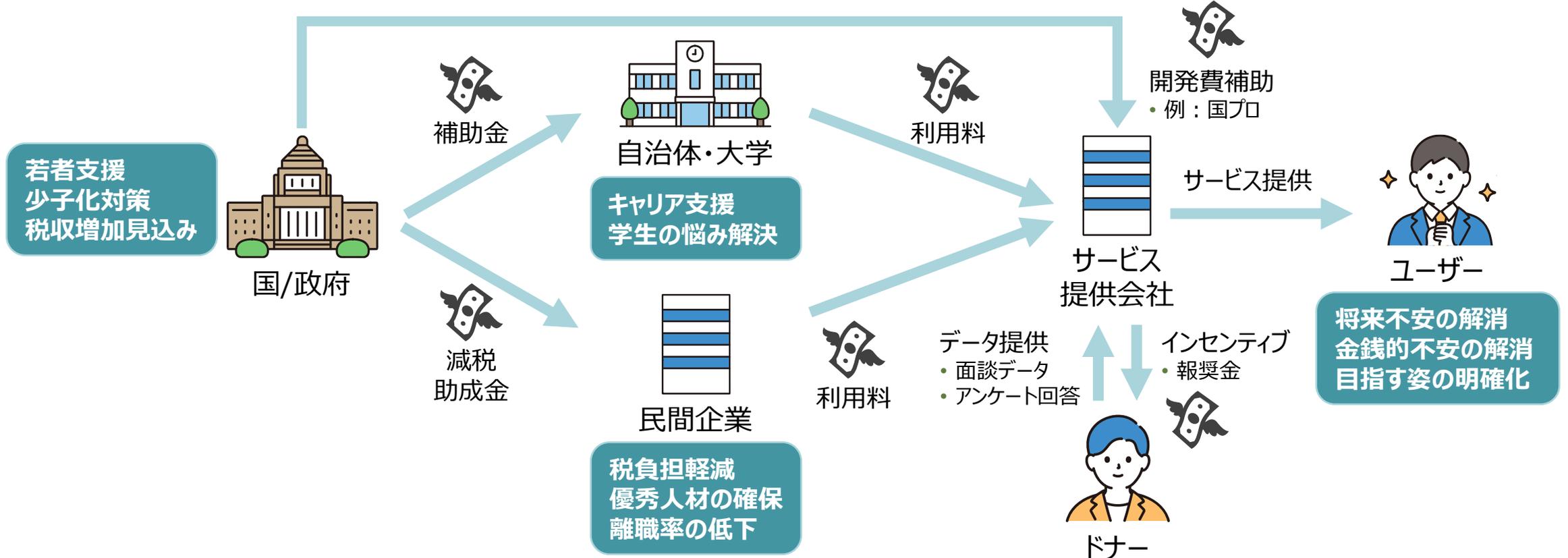
タブレットやPC等の汎用機器を使用して
ブラウザやアプリケーションにてアクセス可能

• 使用頻度

学生は教育課程の中で進路相談の代わりに
本サービスを定期的に使用。
社会人はキャリア研修の一環として本サービスを使用。
国民全員がアカウントを所有し、
自分たちのタイミングでも常に使用が可能な想定

ビジネスモデル

- 国から各自治体・大学へ補助金、企業には減税措置を実施することで利用を促進
- ユーザーの将来/金銭的不安の解消により若者が希望を持てる社会へ
(副次的効果として少子化対策となる期待)



政策提言①

01 サービス提供会社への資金援助



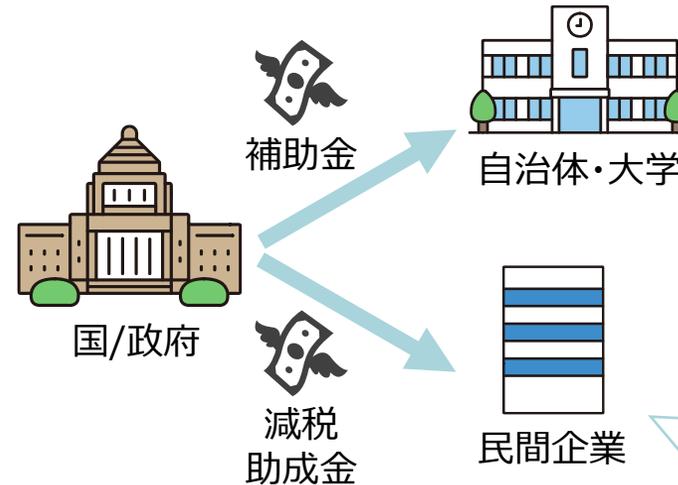
若者支援・少子化対策への貢献

社会課題解決型
サービスのため、
民間だけの
資金確保が困難

開発促進のため
公的プロジェクト
としての支援が必要

国プロなどへの採択によるサービス提供会社への
開発費補助

02 導入企業・機関への優遇措置



利用促進のため
導入企業への
優遇措置が必要



企業認定

- 企業認定制度への組み込み
- 導入企業・機関への減税や助成金・補助金

政策提言②

03 個人の収支データのマイナンバー連携強化



サービスの実現には
ドナー個人の金銭的やり取りを
本サービスと連携する必要あり

個人に紐づく金融情報を
本サービスで2次利用したい

- ・ マイナンバーと金融情報の連携の推進
- ・ 連携した金融情報の二次利用に関する法制化

04 公的プロジェクトとしてのドナー収集支援



サービスの実現には
幅広い層のドナーの
面談動画が必要

裁判員制度のように公的プロジェクトの位置づけで
ドナー収集を支援

日本の未来に希望を持ち 安心して人生を築ける若者で溢れる社会へ

デジタルクローン人生相談室

人生の先輩のデジタルクローンとの面談で、若者のライフプラン設計を支援するサービス

Presented by Team WIND

参考文献

1. マイナビ子育て編集部. “日本の若者は他国と比べて「自国の将来が良くなる」と思う人が最も少ない結果に＜18歳意識調査＞”. マイナビ子育て. 2024-05-11. <https://kosodate.mynavi.jp/articles/34376>, (参照 2025-02-20).
2. ビッグロブ株式会社. “Z世代「日本の未来に希望を感じる」3割弱「あしたメディア by BIGLOBE」が「若年層の意識調査」第1弾を発表”. BIGLOBE. 2023-09-25. <https://www.biglobe.co.jp/pressroom/info/2023/09/230925-1>, (参照 2025-02-20).
3. ビッグロブ株式会社. “「将来、子どもがほしくない」Z世代の約5割 BIGLOBEが「子育てに関するZ世代の意識調査」を実施”. BIGLOBE. 2023-02-21. <https://www.biglobe.co.jp/pressroom/info/2023/02/230221-1>, (参照 2025-02-20).
4. 一般社団法人マザーアンドチャイルド協会. “「子育て世代が思う少子化」に関する調査”. 一般社団法人マザーアンドチャイルド協会. 2023-04-21. <https://motherchild.or.jp/enquete/20230421/>, (参照 2025-02-20).
5. 金山浩晃. “ライフプラン・ライフデザインとは?”. フォーサイト FP (ファイナンシャルプランナー) 通信講座. 2019-09-09. https://www.foresight.jp/fp/column/life-planning/?srsltid=AfmBOoraoYrUhKWqGgooMkUa_Omvd4xmPsOunnjQFMHJ6VU24iaePSWv, (参照 2025-02-20).
6. 日本FP協会. “ライフプランニング意識調査結果 ライフプランを具体的に立案し、ウェルビーイングの実現へ ～ 約4 人に 1 人がライフプランを立てている ～”. 2024-03-28. https://cdn.kyodonewsprwire.jp/prwfile/release/M103734/202403278589/_prw_PR1fl_eX83CXX1.pdf, (参照 2025-02-20).